


平成21年 8月19日

浜田市議会議長 牛尾 昭 様







議員名 田村友行 

## 調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため視察等を行ったので、その結果を報告します。

### 記

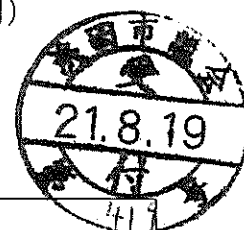
1. 期 間 平成21年 5月18日 ～ 5月20日。
2. 視察又は訪問先 北海道中川郡音威子府村  
北海道おいとねっぶ美術工芸高等学校
3. 参加議員氏名 田村友行

田村友行  印・   
-----  
印・   
-----  
印・   
-----  
印・   
-----  
印・ 

4. 調査経費 54,440 円 (一人当たり 54,440 円)

5. 調査研究活動の概要

別紙のとおり



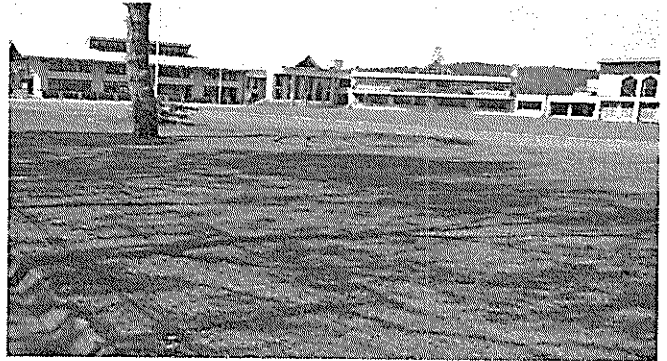
## 《はじめに》

北海道おといねっぴ美術工芸高校に興味を抱いたのは、ある全国紙の報道からである。それは生徒数の減少によって、存続の危機にあった北海道立高校の分校を、人口が千人に満たない村が、村立として、そして個性ある美術工芸という個性あるカリキュラムを設け、全国から107人の生徒が入学し、ほぼ全員が寮生活を送り、充実した高校生活を過ごしている、という報道でありました。

生徒の減少に悩み、存続に危機感を抱いている浜田高校今市分校の個性化による生徒数の増加へ向けて参考にするために視察したものである。

駅から村役場へは徒歩。道すがら、立派な小中学校、保育所のあり、校庭が芝生化されていた。視察した高校の校庭も、当然のように芝生化されており、驚いた。

綺麗に刈り込まれた芝生  
小・中・高校が近いので  
一台の機械を使いまわし  
ている



視察当日は、たった一人の視察であるにも関わらず、千見寺村長、岡田議長、青砥事務局長、本間教育次長、小松教頭に懇切な説明をいただいた。

心から感謝申し上げたい。

## 《音威子府村の概要》（平成21年4月末）

位置 旭川市と稚内市の中間点

人口 914人 面積 275平方km<sup>3</sup>

一般会計予算 1,652百万円

主な指数 (財政力指数 0.13) (経常収支比率 89.1%)  
(実質公債費比率 13.6%) (ラパルス指数 91.1%)



広大な台地に立つ  
音威子府村役場

## 調査事項1 学校運営に対する住民の理解について

音威子府駅に降り立って、駅の名物であるという真っ黒いソバを食べながら、店のおばさんに聞いてみた。「村にとって、高校はどんな存在ですか」

直ちに返事があった。高校がなくなったら、村は終わり。村の運動会もできなくなってしまう。それに高校生は村外ばかりだけど、気持ちよいあいさつをする。とのことであり、村における高校の位置づけは相当高いものがあると感じた。

村役場での質疑で岡田議長は、産業の少ない音威子府村において100人超の生徒が村に住んでくれている。寮の雇用や、食材等の供給等、物心両面において高校は産業であると位置づけているので、約1億前後の支援について村民は十分理解してくれている、とのことであった。

特産のソバを特殊加工して  
黒ソバが名物に育った  
音威子府駅（村営）



## 調査事項2 学校運営への財政負担について

教育費の概要は下記のとおりである

単位:千円

区 分	17年度決算	18年度決算	19年度決算	20年度見込	21年度予算
教員給与費	112,804	110,631	115,491	122,128	118,841
村職員人件費	45,579	43,428	43,903	44,471	46,254
学校管理費	18,723	18,178	19,788	20,468	19,945
教育振興費	10,743	10,570	10,788	12,166	16,750
寄宿舍運営費	27,043	28,829	27,780	28,384	29,291
小計	214,892	211,636	217,750	227,617	231,081
公債費	31,480	22,103	22,077	22,051	22,025
歳出合計	246,372	233,739	239,827	249,668	253,106

区 分	17年度決算	18年度決算	19年度決算	20年度見込	21年度予算
地方交付税	130,246	131,298	136,472	145,500	155,918
授業料	9,514	9,867	10,588	12,700	13,536
入学検定料	253	203	215	314	314
村民税	1,993	2,078	2,315	2,217	2,100
歳入合計	142,006	143,446	149,590	160,731	171,868

差し引き	-104,366	-90,293	-90,237	-88,937	-81,238
------	----------	---------	---------	---------	---------

(注) 地方交付税は、教師・生徒の人口増加による効果を試算

村民税は、教員による納税

生徒数の増加により、一般会計からの持ち出しは年々減少しつつある。

しかし、17億円弱の一般会計の中で6%、1億円近くの財政負担は、浜田市では考えられない支援額である。

### 調査事項 3 寮の運営について

寮の運営は直営ではなく外部委託しており、村は人件費・維持管理経費等を寄宿舍運営費として委託者に支払う方式をとっている。

生徒が支払う寮費は、月額24,700円とかなり低額である。殆んどが食事代で、村の会計を通さずに直接受託者に納付される。

美術工芸高校に名称変更後、女子の入学者が増加したため、女子寮を増築する方向で検討していることであった。



男子 69 名 女子 48 名 計 117 名が生活するセチネシリ寮

## 《おといねっぴ美術工芸高校》

学校の概要、沿革、行事予定等は別添の学校案内資料



おといねっぴ高校正面



木工品の製作に励む生徒たち

あいさつが非常にいい

#### 調査事項 4 生徒募集の方法について

高校には音威子府村の出身者はいない。在校生117人は全て村外出身者である。どの様にして生徒募集したのであろうか。

##### ○道内出身生徒

高校の先生と教育委員会職員が班を組み、旭川、札幌の全中学校を訪問し生徒募集を行う。その他の道内中学校には、全校に学校案内を送付する。

こういった募集活動は道立ではできない。村立だからこその募集方法であるとのことであった。

##### ○道外出身生徒

ユニークなカリキュラムを持つ高校として全国紙やテレビの取材を受け、その報道を見た子供や親御さんが視察に訪れられ、高校や寮を視察された上で入学を決断されたものである。

今年は、遠くは沖縄からの1名をはじめ、19名の入学者があったとのことである。

#### 終わりに

3月定例議会において、県立の今市分校を市立とし、閉鎖された旭中学校の寮を活用し、矯正施設関連施設（矯正施設、盲導犬センター、こども園）と連携した個性的な高校として再生できないものかと一般質問したが、今回の視察で容易なことではないと痛感した。村立高校の存続、生徒の確保に向けた村・高校が一体となった地道で息の長い努力に敬意を表するものである。

今市分校の存続に向け

- ① 地元中学生の分校への進学への働きかけ
- ② 矯正施設との連携の模索

等々、検討して参る所存であること申し添え、行政視察報告といたします。

以上